



学校だより 5月

平成30年4月27日

横浜市立芹が谷南小学校

あいさつで 伝える心 広げる輪

学校長 高木 篤子

新緑の中、子どもたちは気持ちよさそうに校庭いっぱい広がって遊んでいます。1年生も、校庭の遊具などでの遊びを楽しんでいます。

年度初めの朝会で、全校児童にあいさつの話をしました。日に日に、あいさつの声により響くことを期待しながら、声をかけていきます。

あかるく
いつでも
さきに
つたえる



あかるく

「おはようございます」と明るい声のあいさつが響くと、気分よく一日をスタートできます。声だけでなく、表情も明るい子どもたち。今日はどんなことがあるのか、わくわくしているようです。時折、元気が出ないと感じる日も、自分から声を出したり、相手から声をかけてもらったりすると、元気が出るでしょう。あいさつは、双方のエネルギーになります。

いつでも

校内でも、「こんにちは」と多くの子が声をかけてくれます。校長室へ「港南区制50周年ロゴマーク」の投票に来た子どもたちも、「失礼します」と礼儀正しくあいさつができました。職員室に来る子も、しっかりとあいさつをしてから用件を話すことを意識しています。ご家庭やまちの中では、身近な大人の姿から、子どもが時と場に合ったあいさつを学ぶことが多いと思います。機会と場をとらえて、共によろしくお願いします。

さきに

相手があいさつをしてくれるのを待つのではなく、自分から先にあいさつすることを心掛けたいものです。双方が先にあいさつしようとしたら、どちらが早く言えるでしょうか。大切なのは、互いにコミュニケーションをとり、進んで人と関わろうとすることだと思います。

つたえる

伝えるのは、あいさつの言葉でなく気持ちです。とりわけ、「ありがとう」「ごめんなさい」と、心を込めて伝えることを大事にしたいと思います。特別なことでなく、いつもどおりにあいさつを交わすことで、安心感につながるでしょう。また、あいさつをきっかけに思いを伝え合うことで、人とのつながりができます。

これからもぜひ、子どもたちを育む地域・家庭・学校のあたたかな関わりを大切に、人と人をつなぐあいさつの輪を広げることができますよう、ご支援をお願い申し上げます。